

令和5年度

亀岡市立病院 新中期計画 評価報告書

令和6年8月

亀岡市立病院経営審議会

1 はじめに

亀岡市立病院経営審議会(以下、「審議会」という。)は、亀岡市立病院(以下「市立病院」という。)における医療の質の向上と健全な経営を図ることを目的として、医療関係者、学識経験者、行政関係者、自治会関係者からなる外部委員で構成された審議会である。

本報告書は、「亀岡市立病院新中期計画(2021年4月～2024年3月までの3ヶ年計画)」3年目(令和5年度)の評価である。

2 新改革プランに対する点検及び評価結果

(1) 審議会としての具体的な評価方法

「亀岡市立病院新中期計画」の進捗状況報告(令和6年6月28日(金)令和6年度第1回亀岡市立病院経営審議会)に示された実績、自己評価等について病院から項目毎の説明を受け、その内容を審議した。評価は、下記の基準で求め、特に委員から提言された意見を付した。

【評価基準】 評価は、「A、A(-)、B、B(-)、C」の5段階とし、その内容は以下の通りとする。

- A: プラン目標を概ね達成できている。
- B: プラン目標に対して概ね達成したが、項目によっては取り組み内容の再検討が必要である。
- C: プラン目標に対して、多くの項目が目標を達成することが出来ず、大幅な取り組み内容の修正や方向性の検討が必要である。

(2) 審議会評価【総評】

新型コロナウイルス感染症の扱いは変化したものの病院ではまだまだ対応が必要であり完全に脱した状態であるとはいいいく状態の中、外来患者数、初診患者数はコロナ禍以降回復傾向であり、救急搬送応需率も同様である。一方、救急・時間外受入れ件数、入院患者数は、回復傾向にあるものの、目標値に届いていない。1日当たりの入院患者数は、特に地域包括ケア病床において、目標値に遠い状況である。また、地域連携においては逆紹介率が低い状況が続いており、連携強化を推進する考えを満たすためにも一層の努力が必要である。外来患者数は、消化器内科、小児科で大きく減少している。

入院患者数は、整形外科を除き、回復傾向はあるものの目標値に届かない状況である。これを改善するために、京都市内に流出した高度急性期患者等を回復期病床で受け入れることや、救急患者の下り搬送受け入れなど高度急性期病院などとの連携を強固にすることが望まれる。

今後、訪問看護や訪問診療、訪問リハビリテーションの提供体制をさらに強化することで、地域包括ケアシステムの核となり、推進していくことを期待したい。また、使命である市民への公開講座などについては従来から熱心に行われているが、出前講座的なものや比較的大きな公開講座など市民のニーズに合わせて計画され、当院のビジビリティを一層高めるよう希望する。

以上のことから審議会総評として以下のとおり判断した。

A(-)

【意見等】

会議に参加していないので評価は印象的となる事をご容赦願いたい。新中期計画の進捗状況を見ると、計画の進捗状況は良いので、総合的に見れば高く評価できる。次のような改善点があるためA(-)とした。中期計画の基本的な考えの一つとして「地域医療機関と連携し、…」とある。応需率など改善した点も見られるが、紹介率と逆紹介率は一昨年より低下傾向にあると同時に、新中期計画の目標値を下回っており、この基本的な考えを満たすためには一層の努力が必要と思われる。市民健康講座は令和5年に行われるようになったのは評価できるが、リモートによる方法で行われていない。今後コロナ危機のように対面で出来ないような事態が起こりうることを考えると試行的にリモートによる方法も実施すべきと考える。令和4年度総評で検討課題として医師の働き改革を挙げていたが、これについて令和5年度総評で何らかの言及が必要と思われる。

令和5年度の亀岡市立病院における新中期計画に対してA(-)評価とする。

外来患者数、手術件数、初診患者数、新入院患者数等その他のいくつかの項目で前年を上回っており、進捗状況は概ね順調と考えられる。

他方、一日当たりの入院患者数、地域包括ケア病床稼働率は減少したままである。今後の対応が必要と考えられる。また、逆紹介率の向上も望まれる所であり、運用の仕方を考える必要がある。個別には消化器内科、小児科の患者数の増加が望まれる。

1) 新中期計画の進捗状況および自己評価について

- ・外来患者総数が増加基調であることは評価できる(A)。
- ・初診患者数は数年来ほぼ横ばいで、初診患者率は低下傾向と推察されることから、その要因について分析を要する(A-)。
- ・救急搬送者数の増加は評価できる(A)。ただし、応需率が目標値未達成である点については、現体制に種々の制約があることを加味した上で、今後病院として方針を明確にする必要がある。
- ・入院患者数は直近3年比で増加しているものの、コロナ前水準には回帰していない(A-)。
- ・入院患者満足度に関しては、数値そのものよりも「不満足」としたコメントを精査し、改善可能な点について職員全体で情報を共有して速やかに対応することが重要であろう。今後の審議会ではその取り組み状況等についても提示されてはいかかがかと提案する。(評価ポイントなし)
- ・整形外科手術件数が増加傾向であることは評価できる(A)。
- ・診療科別外来患者数では、小児科のみ達成度が低く何らかの方策を講じることが望まれる(B)。
- ・入外収益は微増であり評価できる(A-)。

なお医業収益に関する数値について、①経営審議会資料と、②総評(自己評価)において、例えば令和4年の入院収益は①1899百万円、②1,754,131千円(1754百万円)など、合致しておらず正確な評価は困難であるともいえる。

2) 経営強化プランについて

- ・P10の病院事業会計推移の項目について

医業外収益欄の負担交付金、繰入金欄の一般財源分/交付税算定分、それぞれの定義が示されておらず諸指標の算定式がわかりにくく、一部指標で評価困難である。具体的には、修正医業収支比率算定式の分子は医業「収益」－負担交付金でしょうか？ またこの負担交付金の定義が明記されていません。(評価ポイントなし)

- ・P32の収支の見通しについて

資本的収支で毎年度約3億円の赤字が見込まれていることは、一事業体としては危機的状況にあるのではないのでしょうか？ 会計学的にこれをどのように解釈すべきかの知識を持ち合わせておりませんが、長期的に健全化できるかどうか憂慮されます(B~C)。

また、収支シミュレーション策定に際しての説明において、各種数値目標の設定が必ずしも根拠に基づいた試算によるものではなく(もとより未来の実績見込みではありますが)、より厳格かつ精緻な算出根拠を示し合理的に説明できる数値でなければ、審議会委員としてこれを評価することは困難であるといわざるをえません(C)。

3) 総評

令和5年度は、直近3年間のコロナに伴う特殊な状況下からようやく通常の診療体制に回帰しつつある中で、外来、入院診療実績とも着実に増加基調を示していると評価できる。なお、示された数値を基に適正に審議するため、正確な数値や算定根拠を提示していただくことを求める(A-)。

経営強化プランについては、決して策定すること自体が目的ではないことを認識し、健全な経営を長期的に持続させるため、病院全体で強い危機感をもって対応することが望まれる(C)。

以上より、総合評価としてはBといたしました。

新中期計画との比較においては、救急搬送応需率が目標には及ばなかったが、コロナ禍前の率に戻り特に、救急搬送患者数が1,000件には僅かに届かなかったものの目標値をクリアし開院以来、最高件数を記録したことは市民にとっては大変、心強い存在と考えます。今後も、この状態を持続できるよう努力願いたい。

入院患者数では目標値には達しなかったが、全手術件数が目標値を大幅に上回り、昨年度よりも増したことにより、大幅に病床利用率をアップさせたことは、評価できる。令和6年度は病床を有効に活用する点からも、更なる病床利用率のアップを図られたい。

最終的に、高い入院単価と病床利用率のアップにより、入院収益は過去最高を記録し、6年連続で黒字を達成出来たことは、高く評価できるものと考えています。以上の点と他の項目についても、進捗度は概ね良好であることから、評価についてはA(－)とします。

なお、持続可能な経営を確保するという観点から、長期的な展望を検討していくことが必要と考えます。

外来患者数、初診患者数はコロナ禍以降回復傾向であり、救急搬送応需率も同様である。一方、救急・時間外受入れ件数、入院患者数は、回復傾向にあるものの、目標値に届かない状況もある。1日あたりの入院患者数は、特に地域包括ケア病床において、目標値に遠い状況である。また、紹介率は目標どおりであるが、逆紹介率が低い状況が続いている。外来患者数は、消化器内科、小児科で大きく減少している。また、入院患者数は、整形外科を除き、回復傾向はあるものの目標値に届かない状況である。これは、京都市に流出した高度急性期治療患者が回復期に移行しても引き続き京都市内で受療している状況も考えられ、回復期治療における患者を地域で受け入れて、在宅復帰をスムーズに進める地域医療体制が望まれる。今後、訪問看護や訪問診療、訪問リハビリテーションの提供体制をさらに強化して、地域包括ケアシステムの核となり、推進していくことを期待したい。

新型コロナウイルス感染症の扱いは変化したものの病院ではまだまだ対応が必要であり完全に脱した状態であるとはいいいく状態です。その中で外来患者数・入院患者数が増加していること、また救急車搬入件数も増加しており評価に値すると考えます。平成30年度の実績には至っていないのですが京都市内の多くの病院でも同じ傾向がみられています。入院機能では救急患者連携搬送料を獲得し高度急性期病院からの下り搬送で稼働を上昇させることなど高度急性期病院などと連携を強固にすることものぞまれます。また使命である市民への公開講座などについては従来から熱心に行われていると思いますが、出前講座的なものや比較的大きな公開講座など市民のニーズに合わせて今までにも増して計画されることを希望します。

主要項目で計画未達成のものもあるが、病院全体としては努力していると感じる。入院患者数や新入院患者数が計画未達でもう少し努力をお願いしたい部分ではあるが、前年度よりは改善しており特に問題はない。
総合評価は、いま少しの奮闘を期待しA(－)とする。

会議でも発言したように、救急外来に来られる方は急を要する状態で病院を頼って来られるので先生が専門外なので断るのではなく、例えば電話で聞いて来られても他の病院を紹介するなど親身に対応するなどして救急外来の悪い印象の払拭と、少子高齢化の中子供が減少しているけれど、市内の小児科医では患者が多くてなかなか診てもらえないところもあります。一般人から言わせれば病院も商店も人気商売です。市立病院の小児科は良いと言われるような先生の充実を期待します。

令和 6 年 8 月 9 日

亀岡市立病院経営審議会

会 長 伏 木 信 次



【附属資料】

亀岡市立病院経営審議会委員名簿

(敬称略・順不同)

氏 名	役 職	備 考
伊多波 良雄	同志社大学創造研究センター 嘱託研究員	
吉村 了勇	伏見桃山総合病院 病院長	副会長
上原 久和	亀岡市医師会 会長	
伏木 信次	京都中部総合医療センター 総長 京都府立医科大学名誉教授	会長
新井 英植	公認会計士	
時田 和彦	京都府南丹保健所 所長	
佐々木 京子	亀岡市 副市長	
堀 下 孝 次	亀岡市自治会連合会 副会長	
若園 吉裕	京都桂病院 院長 京都大学臨床教授	
佐藤 裕見子	明治国際医療大学 看護学部 客員教授	

審議会等開催状況(令和4年度～令和6年度)

開催	日時	内容
病院内説明会⇒供覧 (全職員対象)	令和4年4月27日(水)	・新中期計画令和3年度(1年目) 実績を供覧形式で報告
令和4年度診療・部門別 ヒアリング調査 (全医師、部門長対象)	令和4年5月24日(火)～ 5月27日(金)	・今年度における取組事項等について意見交換
令和4年度第1回 亀岡市立病院経営審議会	令和4年6月28日(火) 午後2時00分～4時00分	・新中期計画令和3年度(1年目)の進捗状況について ・公立病院経営強化の推進について ・その他
病院内説明会⇒供覧 (全職員対象)	令和4年11月15日(火)	・新中期計画令和4年度(2年目)上半期実績報告 ・令和3年度病院事業会計報告 ・経営比較分析(令和2年度決算)
令和4年度第2回 亀岡市立病院経営審議会	令和4年12月27日(火) 午後2時00分～4時00分	・新中期計画令和4年度(2年目)上半期の進捗状況につ いて ・南丹地域医療構想調整会議、公立病院経営強化プラン 策定状況について ・電子処方箋の運用について ・その他
病院内説明会⇒供覧 (全職員対象)	令和5年5月11日(木)	・新中期計画令和4年度(2年目) 実績を供覧形式で報告
令和5年度診療・部門別 ヒアリング調査 (全医師、部門長対象)	令和5年5月18日(木)～ 5月26日(金)	・今年度における取組事項等について意見交換
令和5年度第1回 亀岡市立病院経営審議会	令和5年6月27日(火) 午後2時00分～4時00分	・新中期計画令和4年度(2年目)の進捗状況について ・亀岡市立病院経営強化プランの策定について ・その他
病院内説明会 ⇒報告会&供覧 (全職員対象)	令和5年11月16日(木)	・新中期計画令和5年度(3年目)上半期実績報告 ・令和5年度決算見込・シミュレーション ・経営比較分析表(令和3年度決算) ・経営分析レポート(全国自治体病院協議会) 報告
令和5年度第2回 亀岡市立病院経営審議会	令和5年12月22日(金) 午後2時00分～4時00分	・新中期計画令和5年度(3年目)上半期の進捗状況につ いて ・亀岡市立病院経営強化プランの策定について ・その他
新プラン策定	令和6年3月末日	・亀岡市立病院 経営強化プラン・アクションプラン (R6度～R9年度)策定
病院内説明会⇒供覧 (全職員対象)	令和6年5月14日(火)	・新中期計画令和5年度(3年目) 実績を供覧形式で報告
令和6年度診療・部門別 ヒアリング調査 (全医師、部門長対象)	令和6年6月6日(木)～ 6月7日(金)	・今年度における取組事項等について意見交換
令和6年度第1回 亀岡市立病院経営審議会	令和6年6月28日(金) 午後2時00分～4時00分	・新中期計画令和5年度(3年目)の総括について ・亀岡市立病院経営強化プランについて ・その他